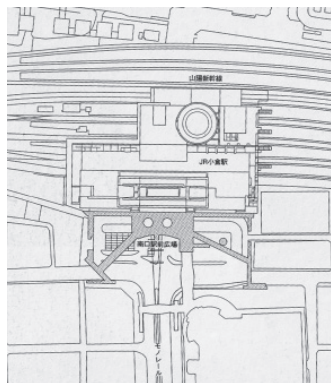


JR 小倉駅南北連絡自由通路の整備、モノレール延伸に伴う、JR 駅舎および南北駅前広場の改造が行われた。アプは市および福山コンサルタントの要請を受け、南口広場のペDESTリアンデッキおよび広場整備の基本計画から意匠設計、監理等を担当した。駅との階段エスカレーター接続部のプラザから放射状に伸びるペDESTリアンデッキの構成とし、モノレール柱部分に開けた円形開口やガラスブロック床（一部）の採用による、地上部への光の誘導、そして開放感のあるベDE端部処理、高欄、照明、バリアフリー対応施設などの全般のデザインに関わった。



小倉駅南口ペDESTリアンデッキ全体写真



小倉駅南口広場計画図



駅出入口ゲート部（サインデザイン：デザイン創研広島）



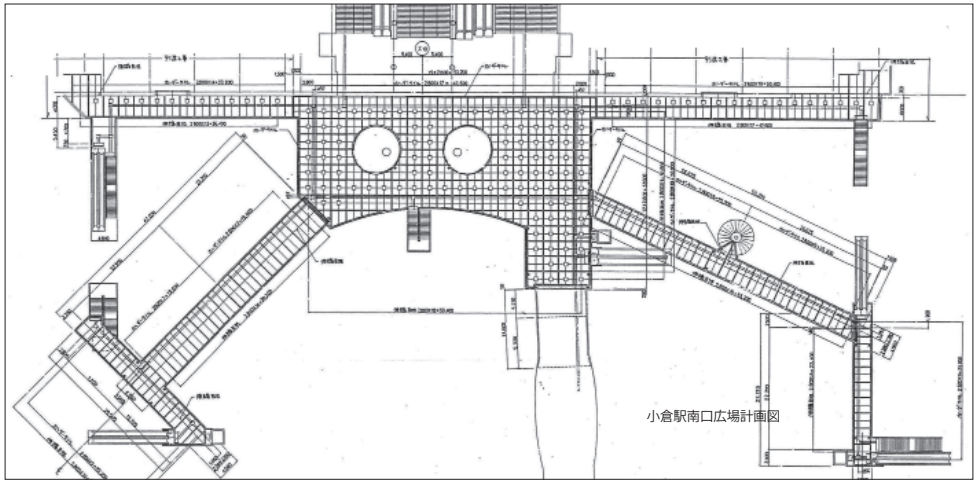
南西放射デッキから駅側を望む



南東放射デッキから駅側を望む

経緯 小倉駅南口駅前広場予備設計 '94.11～'95.3／小倉駅南口駅前広場ペDESTリアンデッキデザイン詳細設計 '95.8～'96.3／小倉駅南口ペDE追加詳細設計 '98.1～'2、以上福山コンサルタント（北九州市）

■小倉駅南口駅前広場ペDESTリアンデッキ（つづき）



ペDESTリアンデッキ計画平面図



モノレール橋脚まわりの光庭



ガラスブロックトツブライトと桁裏化粧板、照明



ペデ面サインパネル



身障者エレベーター

諸元 所在地：北九州市小倉北区浅野1丁目 ペDESTリアンデッキ全体面積：2,295㎡ 構造形式・規模：サウスプラザー鋼床板格子梁構造(1,115㎡)、A橋ー鋼床板2径間連続箱桁構造(幅6.56m、延長47.0m、293.5㎡)、B橋ー既存ー鋼床板2径間連続板桁構造(幅9.40m、延長41.2m、387.5㎡)、C橋ー鋼床板2径間連続箱桁構造+単純箱桁構造(幅4.56m、延長53.3m、幅4.56m、延長27.7m、計369.5㎡) 工事期間：'96.10～'98.3月完成予定 設計：福山コンサルタント+アプル総合計画事務所(景観設計) 協力：TIS&PARTNERS,(基本設計ー構造) 施工：新日本製鉄 サインデザイン：デザイン総研広島(市発注・別途) 担当：中野、萩原、清水、浦岡、関本、吉田、角倉、岩村、熊耳